

令和6年度 第3回 中国四国防衛局入札監視委員会審議概要

中国四国防衛局

開催日及び場所	令和6年12月17日 広島合同庁舎4号館5階 共用第21会議室
委員	上河内 正和 (不動産鑑定士) 上寺 哲也 (高等専門学校准教授) 川本 泰清 (税理士) 甲田 健 (客員研究員) 仲田 誠一 (弁護士)

II 契約実施機関が締結する契約（地方防衛局等が発注する建設工事等を除く。）に関する審議

審議対象期間	令和5年4月1日 ~ 令和6年3月31日
審議対象件数	中国四国防衛局管内の海上自衛隊 7,969件

1. 入札状況について（入札参加資格の設定、指名及び落札者決定の経緯等について）

抽出件数	3件	(審議概要) 入札の状況について
一般競争	2件	
公募型指名競争	0件	
企画競争	0件	
随意契約	1件	

	意見・質問	回答
○委員からの 意見・質問 ○それに対する 回答等	<p>○一般競争入札 [軽油2号（艦船用）（免税）] ・令和5年5月から7月の短い期間での契約である。どれも同じ免税の軽油2号であるが、単価に大きな開きがある理由を説明されたい。また、契約数量の軽油2号の管理方法はどのようにしているのかについて説明されたい。</p> <p>○一般競争入札 [潜水艦用主蓄電池] ・潜水艦の蓄電池の売払いの契約であるが、2件とも同一業者であるにもかかわらず、買取単価に差がある理由を説明されたい。また、約6か月後の契約でこれだけの開きになった理由は何があるのか、スクラップ等の買取価格の推移など具体的に変動する要素を用いて予定価格の算定方法について説明されたい。</p>	<p>本件はいずれも遠洋航海に伴い寄港地ごとに契約しているものがあり、調達場所がそれぞれ異なる国となるため、調達を行う国によって軽油単価に開きが生じている。 管理方法については、軽油2号を契約業者のタンカー等から海上自衛隊の艦艇の燃料タンクに直接給油し、当該艦艇にて遠洋航海中に使用している。</p> <p>スクラップの取引価格は、為替や経済状況などにより短期間に増減することがある。本件の主なスクラップ素材である鉛について言えば、令和5年9月以降は下落傾向、令和6年2月以降は上昇傾向となっている。 各業者が、こうした傾向を踏まえて将来予測を立てた結果、買取単価に差が出たものと思料する。</p>

	意見・質問	回答
<p>○委員からの 意見・質問</p> <p>○それに対する 回答等</p>	<p>○随意契約 [潜水訓練装置定期検査等]</p> <p>・随意契約で落札率が100% になった理由について説明され たい。</p> <p>公募による随意契約をする ときの予定価格の算定方法につ いて説明されたい。</p>	<p>予定価格の算定方法については、 業者から徴収した見積を基に、鉛や 銅などの素材価格から引取りに要す る費用（輸送費や解体費）を差し引 いて算定している。</p> <p>適用できる標準資料がなく、徴取 できた契約相手方を見積りを基に実 績等を加味して予定価格を算定した ため、結果として落札率が高くなっ たものと思料する。</p> <p>限りなく100%に近づいた理由 としては、一度契約不調になったこ とから二度目の商議を実施し、その 結果契約業者が可能な限り値引きし たからである。</p> <p>予定価格の算定方法については、 契約業者の下見積価格に契約価格比 を考慮し算出したが、予定価格超過 により不調になったため、官査定価 格と下見積価格を比較し、官査定価 格を採用している。</p>

2. 談合疑義案件の処理状況について		
談合疑義案件	0件	(審議概要) なし
	意見・質問	回 答
○委員からの意見・質問 ○それに対する回答等	なし	なし
委員会による意見の具申又は勧告の内容	なし	
3. 入札結果の事後的・統計的分析結果について		
審議概要	順位傾向の分析、落札率・応札率の分析等を行った資料を委員に配布	
	意見・質問	回 答
○委員からの意見・質問 ○それに対する回答等	なし	なし
委員会による意見の具申又は勧告の内容	なし	
4. 再苦情処理（再説明請求回答）		
該当事案なし		